

2022年度（令和4年度）

事業計画書

社会福祉法人 手稲ロータス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会	
社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念	2
法人本部	
手稲ロータス会 法人本部	4
特養手稲	
職員内部研修計画	6
介護老人福祉施設 手稲ロータス	8
各種会議・委員会	10
年間行事予定	10
年間行事予算	11
手稲ロータス指定居宅介護支援事業所	12
老健手稲	
職員内部研修計画	15
介護老人保健施設 手稲あんじゅ	17
各種会議・委員会	18
年間行事予定	18
年間行事予算	19
手稲あんじゅ（介護予防）通所リハビリテーション事業所	20
年間会議予定	21
年間行事予算	21
手稲あんじゅ（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	22
在宅手稲	
職員内部研修計画	24
（介護予防）認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう	26
年間会議予定	27
年間行事予算	27
手稲ゆうゆう（介護予防）通所介護事業所	28
年間会議予定	29
年間行事予算	29
手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所	30
手稲ゆうゆう（介護予防）訪問介護事業所	
・手稲ゆうゆう居宅介護事業所	31
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置	32
年間会議予定	33
介護予防普及啓発事業予定・予算	33

特養音更

職員内部研修計画	35
介護老人福祉施設 ロータス音更	37
各種会議・委員会	38
年間行事予定	38
年間行事予算	39
ロータス音更（介護予防）通所介護事業所（標準型・認知症型）	40
年間会議予定（標準型）	41
年間行事予算（標準型）	41
年間会議予定（認知症型）	42
年間行事予算（認知症型）	42
音更町地域包括支援センター ロータス音更	43
あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所	44

老健音更

職員内部研修計画	46
老人保健施設 あんじゅ音更	48
各種会議・委員会	49
年間行事予定	49
年間行事予算	50
あんじゅ音更（介護予防）通所リハビリテーション事業所	51
年間会議予定	52
年間行事予算	52
あんじゅ音更（介護予防）訪問リハビリテーション事業所	53

社会福祉法人 手稲ロータス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔大切にします

ご利用者様の笑顔、ご家族様の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員の笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス(蓮)」の名にふさわしい、明るい笑顔とこまやかな思いやりに満ちた介護事業を目指します

基本方針

○ご利用者様の笑顔のために

- ・一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
- ・安全で安心できる良好な生活療養環境の実現を目指します

○ご家族様の笑顔のために

- ・ご家族様とご利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
- ・ご家族様の介護負担の軽減が図られるように支援します

○地域の皆様の笑顔のために

- ・介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
- ・地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
- ・地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体になったケアを担います
- ・環境にやさしい施設運営を目指します

○職員の笑顔のために

- ・意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
- ・職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

手 稲 ロ ー タ ス 会 法 人 本 部 事 務 局

手稲ロータス会 法人本部

我が国における少子高齢化と生産労働人口の減少は、あらゆる産業の将来に大きな影響を及ぼすことが鮮明になってきている。特に介護福祉サービスを提供する法人にあっては団塊世代が 75 歳以上になる 2025 年には介護の需要が急速に高まっていくことが予想されており、今後も介護現場で働く労働力が不足するという顕在的な課題を抱えている。

このような状況に対応するため、法人として「持続可能な」経営を目指す。

《重点推進課題》

1. 「組織強化検討プロジェクト」の推進（法人全体での取組事項）

政府の働き方改革の推進や新型コロナウイルス感染症による収益の減少など、法人として今後安定的な経営を維持していくための重要課題を、効果的かつ合理的に解決に導く「組織強化プロジェクトチーム」を本年 2 月末に法人内に立ち上げました。

このプロジェクトは各事業所から推薦された職員でチームを編成して、3 年ほどの期間を見込んで検討を進めるものです（本部は事務局を担当）。

検討項目は、法人の収支見通しや計画的な施設補修・修繕を進めるための「中期経営計画」の策定、職員の業務成果を公平かつ確実に昇給や昇格に結び付けていく人事評価制度の見直し、急速に変化しつつある社会情勢に合った各種規程の検証など 5 項目を挙げております。

【指標・評価方法】

- ①初年度となる 22 年度は、各検討項目の提案イメージを作成してもらい、必要な資料の提供等で年明け頃には中間報告をまとめる。

2. 外国人人材の導入に向けた調査検討

我が国が抱える「少子高齢化と労働人口の減少」などの課題を解決するために、政府主導による働き方改革が推進されており、その中の項目に外国人人材の受け入れがうたわれております。

北海道の報告によると、道内では全国を上回るスピードで人口減少や少子高齢化が進行しているといわれており、今後とも事業を安定して継続するためにも、特に雇用環境が厳しくなっている十勝管内の関連施設での活用を想定して、受け入れに関する他法人の実情や体制整備上の課題等の調査・検討を進めます。

【指標・評価方法】

- ①札幌圏内や十勝管内においてもすでに外国人人材を受け入れている事業者があり、その職場での実態や受け入れ体制の在り方を調査し、継続的な受け入れが可能かも含めて、当法人に合った仕組みや費用対効果を検討する。

特 養 手 稻

職員内部研修計画

(手稲ロータス)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4 月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①	感染症予防委員会
5 月	事故発生又は再発防止に関する研修①	事故防止・苦情検討委員会
6 月	食中毒の予防に関する研修	管理栄養士
7 月	看取り介護に関する研修	音更特養の看取り士
8 月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
9 月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	感染症予防委員会
10 月	事故発生又は再発防止に関する研修②	事故防止・苦情検討委員会
11 月	緊急時の対応に関する研修（AEDの取扱い、人工呼吸法等）	施設内外の講師
12 月	地震などの自然災害の防災に関する研修	施設内外の講師
1 月	褥瘡予防に関する研修	褥瘡予防対策委員会
2 月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
3 月	認知症ケアに関する研修	施設内外の講師
その他	新人職員研修	施設長、事務長ほか各専門職
	接遇に関する研修	施設内外の講師
	個別ケア、ユニットケアに関する研修	施設内外の講師
	移乗動作、食事や排せつなどの介護技術に関する研修	施設内外の講師
	法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師
	レクリエーションに関する研修	施設内外の講師
	ハラスメント対策についての研修	施設内外の講師
	避難訓練（火災：年2回～日中想定、夜間想定（2022.11.16（水）10：30実施予定）	札幌市防災協会等
	避難訓練（地震：年1回）	札幌市防災協会等

(手稲ロータス居宅)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4 月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①	併設する介護老人福祉施設と共同開催
5 月	事故発生又は再発防止に関する研修①	併設する介護老人福祉施設と共同開催
6 月	食中毒の予防に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
7 月	看取り介護に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
8 月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	併設する介護老人福祉施設と共同開催
9 月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
10 月	事故発生又は再発防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
11 月	緊急時の対応に関する研修（AEDの取扱い、人工呼吸法等）	併設する介護老人福祉施設と共同開催
12 月	地震などの自然災害の防災に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
1 月	褥瘡予防に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
2 月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
3 月	認知症ケアに関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
その他	新人職員研修	施設長、事務長ほか各専門職
	事例検討会	法人内の居宅介護支援事業所と共同開催
	介護保険制度の改正に関する研修	法人内の居宅介護支援事業所と共同開催
	接遇に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
	地域における社会資源の活用に関する研修	法人内の介護予防センター相談員
	法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師

介 護 老 人 福 祉 施 設 手 稲 □ ー タ ス

手 稲 □ ー タ ス 指 定 居 宅 介 護 支 援 事 業 所

介護老人福祉施設 手稲ロータス

入居者様にとって「居心地の良い」生活の場となることができるよう、職員一人ひとりが入居者様の声に耳を傾け、寄り添うことで、入居者様一人ひとりの生活スタイルが実現できるユニットケアを目指す。

また、入居者様とご家族様をつなぐ「絆」が保ち続けられるよう、入居者様の笑顔がご家族様の笑顔につながり、そして職員の笑顔にかえてくる環境づくりを目指す。

さらに、地域とのつながりを広げるため、積極的に関係機関へ働きかけ、新型コロナ禍における新たな関わりの構築に向けた取組みを進めるとともに、科学的根拠に基づくケアにより、入居者様ファーストを実践し、併せて、安心して長く働ける職場環境の充実に努める。

《重点推進課題》

1 入居者様にとって「居心地の良い」生活の場となるように、チーム全員で入居者様の笑顔につながる環境づくりを目指す

各専門職が連携・協力して、入居者様らしい「生活」を支え、統一したユニットケアを一層促進しながら、入居者様が持つ能力を保ち続けるとともに、発揮することができるよう、自立支援につながる取組みを進めることにより、「居心地の良い」生活の場にふさわしい生活環境をつくっていく。

【指標・評価方法】

入居者様に「その人らしい生活」を過ごしていただく環境づくりのため、入居者様一人ひとりのご意向や生活リズムなどが反映される「24時間シート」の内容を充実させて、個性を取り入れた生活環境をつくっていく。

また、入居者様が持つ能力を発揮できるよう、身体的活動を増やしていくとともに、「褥瘡予防」や「おむつに頼らない排せつケア」を促進するほか、入居者様が安楽な生活を送れるよう、多職種が同じ目標を持ち、その達成に向けて協働で取り組んでいく。

さらに、根拠や実効性のある再発防止策を立案・実施できるよう、「事故防止・苦情検討委員会」が主導する「SHELL」による事故分析方法の定着や、多職種の連携・協力による多角的な事故分析により、安全に生活できる環境の整備に努める。

加えて、入居者様に健康的な日常を過ごしていただくため、歯科医師などと連携・協力し、口腔内の状態や摂食・嚥下機能の定期的評価とともに、入居者様が「食べる喜び」を持ち続けられるよう、口腔ケアの技術向上のほか、口腔衛生の管理環境を整備する。

2 ご家族様の「寂しさ」や「不安」を解消できるように

新型コロナウイルス感染症からの感染予防のため、入居者様との面会を自粛頂いているご家族様の「寂しさ」や「不安」が少しでも解消できるよう、入居者様の日常のご様子など

をお伝えする取組みを継続するとともに、一層充実させていく。

【指標・評価方法】

ご家族様に、入居者様のご様子や体調の変化、ケアの内容などをお伝えするため毎月発行・送付している「お便り(すまいるだより)」を継続するとともに、ビデオ通話等による入居者様とご家族様との会話の機会を継続していくほか、ケアに対するご家族様のご意向や「想い」などを確認する取組みを進めていく。

また、個人情報の取扱いに配慮しながら、ホームページや広報誌のほか、YouTube(ユーチューブ)チャンネルを用いて、入居者様の日常生活での活動のご様子などを多角的に配信するなどして、ご家族様により安心して頂ける取組みを継続していく。

3 地域の皆様とつながる施設を目指す

新型コロナ禍により、地域と関わることのできる活動が限られる中で、広報誌やインターネット通信の発信を継続することにより、近隣の保育園や小中高校及び町内会などの皆様と積極的に関わりを持つほか、オンラインによる「介護相談窓口」を開設するなどして相談窓口を拡充し、地域における介護相談の拠点づくりを目指す。

【指標・評価方法】

当施設が発行する広報誌を、子ども達が通う教育機関などのほか、町内会を通じて地域住民の皆様に定期的に配布して、地域との関係性を構築する。

また、介護に関する相談窓口機能を拡充するため、オンラインによる介護相談窓口を開設するとともに、当施設に併設する居宅介護支援事業所や法人内の在宅サービス事業所との連携を強化し、介護相談に関する地域の拠点づくりを目指す。

4 科学的で入居者様ファーストのケアと、働き続けられる職場環境づくりを目指す

入居者様が持つ能力が発揮され、「その人らしい」生活を送ることができるよう、科学的根拠に基づくケアと、入居者様ファーストのサービスを実践するための強い意欲を持ち続ける。

また、昨年度導入した移乗用介護ロボットの活用により介護負担の軽減などを促進し、安心して働き続けられる職場環境づくりを目指す。

【指標・評価方法】

国の科学的介護データベース(LIFE(ライフ))を活用して、多職種が連携・協力しながら、科学的根拠に基づくケアが実践できる体制を構築するとともに、入居者様ファーストとなるケア環境をより充実させていく。

また、入居者様の身体的負担を軽減し、入居者様が持つ能力を発揮することができるとともに、介護職員などの腰痛の要因となる身体的負担を軽減することができるよう、移乗用介護ロボットの整備・拡充を進めるなどして、全ての職員が当施設において長く働き続けられる職場環境づくりを目指す。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	運営会議	毎月第4水曜日 13:30～
	副主任等会議	毎月第1水曜日 16:30～
	職員会議	4月・7月・10月・1月第4水曜日16:15～
	フロア会議	月1回
	入居検討委員会	4月・7月・10月・1月第4水曜日10:30～
	サービス担当者会議	随時
委員会	事故防止・苦情検討委員会	毎月第2木曜日 16:15～
	感染症予防委員会	5月・8月・11月・12月・1月・2月・3月第2月曜日 16:15～
	身体的拘束廃止・虐待防止委員会	毎月第3火曜日 16:15～
	褥瘡予防対策委員会	毎月第3水曜日 16:15～
	看取り介護検討委員会	毎月第2水曜日 16:15～
	広報・研修委員会	毎月第1火曜日 16:15～
	口腔衛生向上委員会	毎月第1水曜日 16:15～
	衛生委員会	毎月第4水曜日 13:30～
	給食委員会	定期的に開催

年間行事予定

月	日	行 事	内 容
5月	8(日)	母の日のお祝い	女性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。
6月	4(土)	開設記念行事 ※	ユニット又はフロア毎に企画を立て、お祝いする。
	19(日)	父の日のお祝い	男性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。
7月	23(土)	手稲ロータス夏まつり	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。
9月	17(土)	敬老祝賀会 ※	ユニット又はフロア毎に、ご家族を招き、長寿をお祝いする。
12月	24(土)	クリスマス会・忘年会	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年を振り返る。
2月	3(金)	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく。
3月	3(金)	桃の節句	ひな壇を飾り、食事を楽しむ。
通年	—	誕生会	各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施する。
	—	個別活動	入居者のニーズに合わせ、外食行事などを楽しむ。
	—	地域活動	地域交流スペースにて運動教室などの身体活動、パソコン教室などの文化活動を随時、実施する。

【 備 考 】

※ 「開設記念行事」は、入居者のご家族が交流できる機会とすることから、6月4日(土)又は6月5日(日)どちらかに実施。

※ 「敬老祝賀会」は、入居者のご家族が交流できる機会とすることから、9月17日(土)又は9月18日(日)どちらかに実施。

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	母の日のお祝い	8日 (日)	女性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。	プレゼント代 880 × 60 人		52,800	52,800
6月	開設記念行事	4日 (土)	ユニット又はフロア毎に企画を立て、お祝いする。	入居者食事代 440 × 80 人 ケーキ代など 220 × 80 人 飲み物代 3,300 × 8 ユニット 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 26,400		118,800
	父の日のお祝い	19日 (日)	男性の入居者及び利用者にプレゼントを贈り、お祝いする。	プレゼント代 880 × 20 人		17,600	
7月	手稲ロータス夏まつり	23日 (土)	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。	模擬店材料代 1,100 × 200 人 装飾品代 2,750 × 8 ユニット 運営費 330 × 200 人	220,000	22,000 66,000	308,000
9月	敬老祝賀会	19日 (土)	ユニット又はフロア毎に、ご家族を招き、長寿をお祝いする。	入居者食事代 440 × 80 人 ケーキ代など 220 × 80 人 被表彰者記念品代(100歳以上) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(喜寿) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(傘寿) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(米寿) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(卒寿) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(白寿) 3,300 × 3 人 表彰状の用紙代 2,000 × 1 袋 表彰状の額縁 330 × 18 人 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600	9,900 9,900 9,900 9,900 9,900 9,900 2,000 5,940 22,000	142,140
12月	クリスマス・忘年会	24日 (土)	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年を振り返る。	入居者食事代 440 × 80 人 ケーキ代など 220 × 80 人 飲み物代 2,750 × 8 ユニット プレゼント代 550 × 80 人 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 22,000	44,000 22,000	140,800
2月	節分行事	3日 (金)	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく。	入居者食事代 220 × 80 人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600	22,000	39,600
3月	桃の節句	3日 (金)	ひな壇を飾り、食事を楽しむ。	入居者食事代 220 × 80 人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600	22,000	39,600
通年	誕生会	随時	各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施する。	プレゼント代 880 × 100 人		88,000	
	個別活動	随時	入居者のニーズに合わせ、外食行事などを楽しむ。	職員食事代 840 × 140 人 運営費 1,000 × 80 人	117,600	80,000	
	正月の装飾	随時	正月の雰囲気を感じていただくため、ユニット内を装飾する。	装飾品代 1,650 × 8 ユニット		13,200	
	レクリエーション活動	随時	各ユニットにてレクリエーションを企画し、随時、実施する。	年間活動費 26,400 × 8 ユニット (1ユニット月に2,200円)		211,200	
	地域活動	随時	地域交流スペースにて運動教室などの身体活動、パソコン教室などの文化活動を随時、実施する。	運営費 2,200 × 12 回		26,400	
合 計					579,600	798,540	1,378,140

手稲ロータス指定居宅介護支援事業所

利用者様に対し、自立支援の視点からサポートすることで、利用者様自身が選択し、望ましい在宅生活が続けられるよう、居宅介護サービス事業者などとの連携を深めるとともに、利用者様が孤立せず、社会との関係性を維持できるように、インフォーマルサービスを導入することや、地域とのつながりを意識して支援する。

また、ご家族様の不安や悩みを理解し、一緒に解決策を模索することで、ご家族様が在宅介護に向き合える環境を整える。

さらに、専門職としてのスキルアップを常に意識するとともに、利用者様やご家族様、地域の皆様に自らの能力を還元し、それぞれの皆様の笑顔につなげる。

《重点推進課題》

1 その人らしい在宅生活の継続のために、自立支援につながるケアプランづくりを目指す

利用者様の意思が尊重されて、ご自身で選択・実行でき、その人らしい在宅生活が継続できるよう、利用者様が持っている強みを生かした自立支援の観点からケアプランを作成する。

併せて、利用者様がより効果的なサービスの提供を受けられるよう、他の居宅介護サービス事業者との連携・協力関係を一層促進させるとともに、利用者様が地域社会とのつながりを維持できるように努める。

また、利用者様の笑顔があふれる環境づくりを目指し、より多くの利用者様との出会いを求める。

【指標・評価方法】

利用者様が、自分らしい生活を可能な限り継続できるよう、利用者様が望む生活スタイルと利用者様が持っている強みを的確に把握し、その実現のための課題の解決に向けて、利用者様がご自身で選択のうえ実行できるケアプランを作成する。また、各種サービスが、利用者様の望む生活にとってより効果的なものとなるよう、サービス事業者と連携を図り、情報共有に努める。

併せて、在宅生活の充実と課題解決の選択肢を増やすためにも、インフォーマルサービスの活用を通じ、地域社会とのつながりを維持できるよう努める。

さらに、介護支援専門員を増員することに伴い、関係機関へのアピールを加速することで、より多くの利用者様との出会いを積極的に求めていく。

2 ご家族様が抱く、在宅介護の悩みや不安の解消を目指す

ご家族様が抱える、在宅介護に関する「不安」や「悩み」を受け止め、その解決に向けて、共に考えていくことで、ご家族様が在宅介護を継続できるようにサポートする。

【指標・評価方法】

ご家族様の心身の状態を把握できるように、定期的な訪問以外にも、ご家族様への電話連絡やご家族様と面談の機会を持つなど、不安や悩みの早期発見と受容に努める。

また、ご家族様が面談の機会に直接伝えることを遠慮してしまう思い(不安・悩み)を把握する手段として、アンケートを実施するとともに、必要に応じて関係事業者などと連携しながらその解決に努める。

3 地域の関係機関などとの連携による情報把握と地域の拠点づくり

地域包括支援センターや医療機関などと連携して、社会参加などのための社会資源に関する情報を収集するとともに、研修会などの機会を通じて、社会資源や地域が抱える生活課題に関する情報共有を図る。

また、インターネット通信による「介護相談室」を開設するなどして相談窓口の機能を拡充し、地域における介護相談の拠点づくりを目指す。

【指標・評価方法】

利用者様の社会参加や生活課題の解決につなげるため、そうしたことに関する地域の社会資源を把握するとともに、地域包括支援センターや医療機関などの関係機関との情報共有に努める。

また、介護に関する相談窓口機能を拡充するため、地域住民を対象とした、オンラインや電話による介護相談窓口を開設するとともに、当事業所に併設する介護老人福祉施設や法人内の関係事業所との連携を強化し、介護相談に関する地域の拠点づくりを目指す。

4 利用者様の「想い」を聴くことができる専門職を目指す

利用者様が望む生活を可能な限り続けることができるように、利用者様の「想い」を聴き取り、受止め、利用者様と相談できる専門職としての能力を高める。また、事例検討会や施設内研修などのほか、インターネット環境を活用した研修機会を通じて、専門的知識や技術を学ぶ機会を継続的に持ち、専門職としてのスキルアップに努める。

【指標・評価方法】

専門職として、利用者様の「想い」を的確に聴き取るために、コミュニケーション技術をより高められるよう、事業所内外の研修機会を通じてスキルアップを目指す。また、自立支援に向けたプランニングができるように、事業所内において学びの機会を持つ。

さらに、チームメンバーが、専門職としての一定の能力を身に付けることができるよう、増員する介護支援専門員に対する教育システムを確立する。

老 健 手 稻

職員内部研修計画

(手稲あんじゅ 入所・短期・通所)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4 月	接遇について	副主任相談員等
5 月	職員のメンタルヘルスについて	看護主任等
6 月	感染症予防について①	感染症予防委員長
7 月	レクリエーションについて	リハビリ主任等
8 月	身体拘束防止について	身体拘束廃止委員長
9 月	事故防止について①	事故防止委員長
10 月	感染症予防について②	感染症予防委員長
11 月	非常災害について	副主任相談員等
12 月	事故防止について②	事故防止委員長
1 月	口腔ケアについて	看護主任等
2 月	高齢者虐待について	身体拘束廃止委員長
3 月	認知症ケアについて	介護主任等
随時	新規採用職員研修	各事業の主任等

介 護 老 人 保 健 施 設 手 稻 あ ん じ ゅ

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 手稲あんじゅ

介護保険制度改正にて科学的根拠に基づく支援や ICT 活用が重要視され、昨年度から iPad の導入や LIFE(科学的介護情報システム)への対応について準備をすすめてきた。

コロナ禍における在宅復帰支援で平常時とは異なる困難さの中でも、科学的根拠に基づく情報共有や ICT 活用による連携が役立っており、その本格的な運用を開始していきたい。

また感染対策による入所者の心身機能への影響も見え始めているなかで、先行して導入した R4 システムによる個別支援とともに、施設全体の取り組みとして次期介護保険改正を見据えた必要な加算の取得を目指していく。

《重点推進課題》

1. LIFE(科学的介護情報システム)への対応

科学的介護推進体制加算を取得しPDCAサイクルを充実させることで、ケアの質の向上を図ります。その他の加算について施設全体のニーズと照らして検討を行っていく。

【指標・評価方法】

- ① 上半期に、科学的介護推進体制加算を取得する。
- ② 下半期に、LIFEに関連する加算について取得の検討を行う。

2. 業務の効率化によるケア内容の充実

iPad での記録・情報確認による業務の効率化を図り、個別ケアに関わる支援や必要な情報収集・アセスメントを充実させる。

【指標・評価方法】

- ① 上半期に、iPad の運用を開始する。
- ② 下半期に、情報入力の簡素化によるペーパーレスを達成する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会議	職員会議	必要に応じて随時開催
	主任会議	第1・3木曜日 17:00～
	グループ会議	各グループ月1回 17:00～
	入所(退所)判定会議	随時
	サービス担当者会議	随時
委員会	褥瘡予防対策委員会	第1木曜日 16:00～
	感染症予防対策委員会	第2木曜日 16:00～
	身体拘束廃止委員会・虐待防止委員会	第3木曜日 16:00～
	事故防止検討委員会	第4木曜日 16:00～
	広報委員会	第2水曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3火曜日 17:00～
その他	入所者懇談会	年2回(4・10月)第2金曜日 11:00～

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	各階1回 一週間	歌を楽しむ会 桜湯の日	季節の歌やカラオケなどを楽しんでいただく 桜の香りのお湯で季節を感じ、入浴後に飲み物を用意する
5月	各階1回 5月中	お茶会 テラスでガーデニング	新茶の季節を感じるお茶会をする テラスで花などを植え、日々の世話も楽しんで頂く
6月	1日 各階1回	開設25周年記念式典 テラスでシャボン玉	豪華な食事で開設記念日を祝い記念撮影を行う テラスでシャボン玉などを楽しむ
7月	一週間 各階1回	薄荷湯の日 テラスでアイスクリーム	薄荷の香りのお湯を楽しんで頂く テラスでアイスクリームなどを食べて頂く
8月	各階1回 各階1回 各階1回	花火 スイカ割り 盆踊り	花火をしたり観賞して楽しむ スイカ割りをしたり食べることで夏を楽しむ 音楽に合わせて身体を動かして頂く(事前に練習もする)
9月	19日 1回	敬老祝賀会 ソフトクリームの日	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き長寿を祝う キッチンカーを招いてソフトクリームを食べて頂く
10月	各階1回 一週間	スポーツ大会 りんご湯の日	身体を動かして楽しむ いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる
11月	各階1回 各階1回	のど自慢大会 おやつレク	季節の歌やカラオケなどを楽しんで頂く 個別でトッピングなどをしたおやつを楽しむ
12月	後半で1回 12月中	忘年会(1年の振り返り) 年越し準備週間	皆さんで夕食を囲み、一年を振り返る宴会をする 整容や装飾作りなどをして新年を迎える準備をする
1月	各階1回 一週間	お正月遊びの日 みかん湯の日	福笑いなど伝統のお正月遊びを楽しむ みかんの皮を入浴剤にして季節のお湯を楽しむ
2月	各階1回 2日	スポーツ大会 節分の豆まき	身体を動かして楽しむ 豆まきなど節分の風習を行う
3月	3日 一週間	ひな祭り食事会 薬湯の日	昼食時にお祝いの食事会を行う いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる

【備 考】

※「誕生会」各入所者の誕生日の11:00に実施
 ※「音楽療法」毎月第3火曜日14:00～
 ※「化粧療法」2ヶ月に1回火曜日14:00～実施(化粧教室、ハンドマッサージ・ネイル教室)
 ※「あんしんお届け便」(外部業者によるショッピング機会の提供)年2回
 ※「喫茶」(各階)毎週日曜日14:00～
 ※「避難訓練」年2回
 ※上記以外に「個別外出」、地域交流等を実施
 ※年間行事予定については、感染症予防対策のため必要に応じて変更しながら実施していく

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

会 議	行 事 名	実施日	実 施 内 容	費 用 内 訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	歌を楽しむ会 桜湯の日	各階1回 一週間	季節の歌やカラオケなどを楽しんで頂く 桜の香りのお湯で季節を感じ、入浴後に 飲み物を用意する	運営費 5,000 × 2 フロア 食材費等 300 × 90 人 運営費 10,000 × 1 回	27,000	10,000 10,000	47,000
5月	お茶会 テラスでガーデニング	各階1回 5月中	新茶の季節を感じるお茶会をする テラスで花などを植え、日々の世話も 楽しんで頂く	食材費等 700 × 90 人 運営費 5,000 × 2 フロア 運営費 50,000 × 2 フロア	63,000	10,000 100,000	173,000
6月	開設25周年記念 式典 テラスでシャボン玉	1日 各階1回	豪華な食事で開設記念日を祝い 記念撮影を行う テラスでシャボン玉などを楽しむ	入所者飲食代 660 × 90 人 運営費 20,000 × 1 回 記念品 1,000 × 90 人 運営費 10,000 × 2 回	59,400 90,000	20,000 20,000	189,400
7月	薄荷湯の日 テラスでアイスクリーム	一週間 各階1回	薄荷の香りのお湯を楽しんで頂く テラスでアイスクリームを食べる	運営費 10,000 × 1 回 食材費等 500 × 90 人 運営費 5,000 × 2 回	45,000	10,000	65,000
8月	花火大会 スイカ割り 盆踊り	各階1回 各階1回 各階1回	花火をしたり観賞して楽しむ スイカ割りをしたり、スイカを食べることで 夏を楽しむ 音楽に合わせて身体を動かして頂く	運営費 20,000 × 2 回 食材費等 200 × 90 人 運営費 5,000 × 2 回 運営費 10,000 × 2 回	18,000	40,000 10,000 20,000	88,000
9月	敬老祝賀会 ソフトクリームの日	19日 1回	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き 長寿を祝う キッチンカーを招いてソフトクリームを 食べて頂く	食事代 660 × 90 人 おやつ代 600 × 90 人 飲物代他 5,000 × 1 回 記念品代(男女最高齢) 12,000 × 2 人 記念品代(賀寿) 8,400 × 15 人 運営費 20,000 × 1 回 食材費等 350 × 90 人	59,400 54,000 5,000	24,000 126,000 20,000 31,500	319,900
10月	スポーツ大会 りんご湯の日	各階1回 一週間	身体を動かして楽しむ いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる	運営費 10,000 × 2 回 運営費 10,000 × 1 回		20,000 10,000	30,000
11月	のど自慢大会 おやつレク	各階1回 各階1回	季節の歌やカラオケなどを楽しんで頂く 個別でトッピングなどをしたおやつを楽しむ	運営費 5,000 × 2 回 食材費等 500 × 90 人 運営費 5,000 × 2 回	45,000	10,000	65,000
12月	忘年会 年越し準備週間	下旬 12月中	皆さんで夕食を囲み、一年を振り返る 宴会をする 整容や装飾作りなど新年を迎える準備をする	入所者食事代 660 × 90 人 飲物代他 10,000 × 1 回 運営費 10,000 × 1 回 運営費 15,000 × 2 フロア	59,400 10,000 10,000	30,000	109,400
1月	お正月遊びの日 みかん湯の日	各階1回 一週間	福笑いなど伝統のお正月遊びを楽しむ みかんの皮を入浴剤にして季節のお湯を楽しむ	運営費 10,000 × 2 回 食材費等 400 × 90 人 運営費 10,000 × 1 回	36,000	20,000 10,000	66,000
2月	節分の豆まき スポーツ大会	2日 各階1回	豆まきなど節分の風習を行う 身体を動かして楽しむ	運営費 10,000 × 2 フロア 運営費 10,000 × 2 回		20,000 20,000	40,000
3月	ひな祭り食事会 薬湯の日	3日 一週間	昼食でお祝いの食事会を行う いつもと違うお湯で入浴して頂き、季節を感じる	入所者食事代 660 × 90 人 運営費 10,000 × 1 回 運営費 10,000 × 1 回	59,400	10,000 10,000	79,400
そ の 他	誕生会	随時	各入所者に誕生日プレゼントを贈る	プレゼント代他 1,100 × 90 人		99,000	99,000
	音楽療法	月1回	音楽療法士による音楽療法	委託料 10,000 × 12 回		120,000	120,000
	化粧療法	年6回	資生堂による化粧療法	委託料 11,400 × 6 回		68,400	68,400
	あんしんお届け便	年2回	外部業者によるショッピング機会の提供	実費		0	0
	買い物代行	月2回	ネットショッピングによる買い物	実費		0	0
	個別外出	随時	急なニーズに対応	職員飲食代 940 × 30 人 運営費 15,000 × 1 回	28,200	15,000	28,200 15,000
	外出デイ レクリエーション費	年16回 随時	季節折々の観光地や公共施設等へ外出 グループごとに行うレクリエーション等	職員・ボランティア飲食代 1,240 × 100 人 運営費 50,000 × 2 フロア	124,000	100,000	124,000 100,000
合 計					792,800	1,033,900	1,826,700

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

住み慣れた環境での生活が継続できるように、利用者本人と家族のニーズや気持ちをくみ取り、リハビリや運動、デイケアでの活動を通して、身体能力の維持、向上を目指せるように支援していく。

《重点推進課題》

活動意欲につながる個別プログラムの実践と評価

利用者本人が活動意欲を維持できるように、ニーズに合わせた個別プログラムの作成と実践、評価を行っていく。

【指標・評価方法】

3ヵ月ごとのケアカンファレンスを継続し、プログラムの見直しを行う。その際には、利用者本人の自己評価や家族への意向確認、また、居宅介護支援事業者等との情報共有を行い、計画書やプログラムへ反映させていく。

各種会議・委員会

月	会 議 予 定	開 催 日
会議	デイケア会議	毎月第1火曜日 17:00～
	ケースカンファレンス	随時
	主任会議	第1・3木曜日 17:00～
	職員会議	必要に応じて随時開催
	サービス担当者会議	随時
委員会	褥瘡予防対策委員会	第1木曜日 16:00～
	感染症予防対策委員会	第2木曜日 16:00～
	身体拘束廃止委員会・虐待防止委員会	第3木曜日 16:00～
	事故防止検討委員会	第4木曜日 16:00～
	広報委員会	第2水曜日 17:00～
	教育訓練委員会	第3火曜日 17:00～

年 間 行 事 予 定

(単位:円)

月	行 事 名	予 算 内 訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	お花見ドライブ	実費	0	0	0
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 660 × 37 人 記念品代(25周年) 1000 × 95 人	24,420	95,000	24,420 95,000
8月	ロータス会夏祭り	飲食代 20000 × 1 回 装飾代 10000 × 1 回 運営費 10000 × 1 回	20,000	10,000 10,000	 40,000
9月	敬老祝賀会 敬老祝週間	利用者食事代(当日) 660 × 37 人 記念品代 660 × 95 人 記念品代(賀寿) 4400 × 8 人 運営費 5000 × 6 回	24,420	62,700 35,200 30,000	 152,320
10月	レクリエーション大会	運営費 5000 × 6 回		30,000	30,000
12月	年末ビンゴ大会	プレゼント代 1,320 × 95 人		125,400	
3月	ひな祭り食事会	利用者食事代(当日) 660 × 37 人	24,420		149,820
通年	レクリエーション制作教材費 ボランティア謝礼 誕生祝い(プレゼント代)	22000 × 12 ヶ月 5000 × 12 回 550 × 95 人		264,000 60,000 52,250	 376,250
		合 計	93,260	774,550	867,810

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

訪問リハビリでは、医療と介護の切れ目ないサービス提供が求められているため、利用者が退院退所直後の場合にのみ、提供できるサービス上限回数が多く設定されている。

そのようなニーズに対応するため、居宅支援事業所や病院との連携を強化し、必要に応じて、短期間に集中的なサービスを提供できる体制構築を目指す。

《重点推進課題》

退院退所直後の充実したリハビリの提供

退院退所直後のリハビリの必要性が高い利用者に対し、一定期間、集中的にサービスを提供できる体制を構築する。

【指標・評価方法】

職員配置と利用者ごとの担当職員数の見直しを図る。担当職員数は現状の2人から3人に変更し、集中的かつ切れ目ないサービス提供を目指す。また、居宅支援事業所や病院に対し、受け入れ可能状況等の情報伝達を定期的に行っていく。

在 宅 手 稻

職員内部研修計画

(手稲ゆうゆうGH)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	事故・ヒヤリハットの分析と対策（2021年度集計より）	事故対策委員
5月	倫理・法令遵守について	研修委員
6月	感染症予防対策（食中毒の予防）について	研修委員
7月	身体拘束・虐待防止について①	研修委員
8月	認知症の理解について	管理者
9月	非常災害時の対応について（BCP）	研修委員
10月	感染症予防対策（インフルエンザ・ノロウイルス等）について	研修委員
11月	身体拘束・虐待防止について②	研修委員
12月	ハラスメントについて	研修委員
1月	個人情報・プライバシーの保護について	研修委員
2月	介護事故について	研修委員
3月	介護職のための医療知識、緊急対応について	管理者
その他	新規採用職員研修	各事業の主任など

(手稲ゆうゆう通所)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	管理者・生活相談員
5月	事故防止について①	生活相談員・介護職員
6月	感染症・食中毒の予防について①	管理栄養士
7月	プライバシーの保護について	管理者・生活相談員
8月	緊急時の対応方法について	生活相談員・看護職員
9月	身体拘束廃止について	生活相談員・介護職員
10月	感染症・食中毒の予防について②	管理栄養士
11月	非常災害時の対応について	管理者・生活相談員
12月	認知症について	生活相談員・介護職員
1月	高齢者虐待防止について	管理者・生活相談員
2月	事故防止について②	生活相談員・介護職員
3月	職業倫理及び法令順守について	管理者
随時	新規採用職員研修	主任・副主任

(手稲ゆうゆう居宅)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	介護支援専門員
5月	法令遵守について	介護支援専門員
6月	感染症について（訓練含む）	介護支援専門員
7月	身体拘束・虐待防止について	介護支援専門員
8月	メンタルヘルス	介護支援専門員
9月	非常災害時の事業継続について（BCP）	介護支援専門員
10月	感染症について（訓練含む）	介護支援専門員
11月	身体拘束・虐待防止について	介護支援専門員
12月	ハラスメントについて	介護支援専門員
1月	個人情報について	介護支援専門員
2月	事故防止について	介護支援専門員
3月	インフォーマルサービスについて	介護支援専門員
その他	外部研修（札幌市、ケアマネ連協、包括支援センター、他事業所、他）	外部講師

(手稲ゆうゆう訪介)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇マナーについて	管理者
5月	介護技術研修（認知症ケアについて）	サービス提供責任者等
6月	感染症について（訓練含む）	管理者
7月	人権擁護・虐待防止について	管理者
8月	身体拘束について	サービス提供責任者等
9月	感染症や非常災害時の業務継続計画について	管理者
10月	感染症について（訓練含む）	管理者
11月	個人情報保護に関する研修	サービス提供責任者等
12月	介護技術研修（身体・生活援助）	サービス提供責任者等
1月	訪問介護計画書・サービス記録に関する研修	サービス提供責任者等
2月	リスクマネジメント研修	サービス提供責任者等
3月	他サービスとの連携について	管理者

(介護予防) 認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう
手稲ゆうゆう (介護予防) 通所介護事業所
手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所
手稲ゆうゆう (介護予防) 訪問介護事業所
手稲ゆうゆう 指定居宅介護事業所
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

入居者が手稲ゆうゆうで継続的に暮らしていくために、日常で楽しみにしている食事と日々の運動を通して、健康で充実した生活が送れるように支援します。

《重点推進課題》

1. 健康保持及び重度化防止

入居者が笑顔で健康に暮らせるよう、入居者個々人の疾病を理解し、日常生活の中で、体調変化を見落とすことがないよう、早期発見に努める。

また、健康を保持する為に、食事や運動、睡眠状態の観察及び改善を図る。

【指標・評価方法】

- ① 家族、訪問診療医と情報を共有し、病気を早期発見する。
- ② 管理栄養士が作成した献立により、栄養バランスの摂れた食事を提供する。
- ③ 感染予防対策(BCP の作成)の継続を図る。
- ④ 日々の体操や入居者一人ひとりに合わせた運動を行う。
- ⑤ LIFE を活用して、自立支援及び重度化防止に取り組む。

手稲ゆうゆう通所介護事業所

感染症予防に努めながら安定的な事業運営を目指し、様々な活動場面等を通じて利用者が持っている能力を発揮させることで、何かを得られ、利用者にとって新たな魅力が感じられるサービス提供を目指します。

《重点推進課題》

1. サービスの質の向上を図る

利用者の満足度を高めるため、提供する活動内容の見直しや更なるチームワークの構築を図り、職員共通の目標を設定していく。更に、LIFE(ライフ)を活用し、利用者の自立支援・重度化防止に繋がるサービス提供体制の構築を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 全職員で目標達成シート(マンデラチャート)を作成し、自己研鑽に努める。
- ② 「報告・連絡・相談」といった「情報共有」を職員が適格に実施できるよう、話し易い環境を整え、日頃から「感謝・謙虚」の気持ちを持ち「笑顔」で業務に取り組む。
- ③ LIFE(加算算定)に必要な、100名程度の個人情報について、今年度までに完成できるよう、役割分担を行う。常勤職員1人当たり、担当20件程度とし、上半期までに、半数程度の入力を完成させる。また、新規利用者はサービスの利用前に相談員が情報を入力していく。
- ④ コロナ禍等においても、サービスが継続できるよう、BCP(事業継続化計画)を作成していく。BCPの作成にあたっては、早期に担当者を決定し、上半期を目途とする。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定	開 催 日
会議	デイサービス会議	毎月第1水曜日 17:30～
	ケースカンファレンス・モニタリング	随時
	サービス担当者会議	随時

年 間 行 事 予 定

(単位:円)

月	行 事 名	費 用 内 訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
6月	開設記念日	利用者食事代(当日) 660 × 40 人	26,400		26,400
8月	夏祭り	模擬店材料代・飲食代 30,000 × 1 回 運営費	30,000	10,000	40,000
9月	敬老祝賀会 (3日間実施予定)	利用者食事代(3日間) 220 × 120 人 記念品代 550 × 120 人 記念品代(賀寿) 4,400 × 15 人 運営費	26,400	66,000 66,000 16,500	174,900
12月	忘年会 (3日間実施予定)	プレゼント代 550 × 120 人 利用者食事代(おやつ代含む) 660 × 120 人 運営費	79,200	66,000 16,500	161,700
2月	節分	運営費		3,300	3,300
通年	レクリエーション制作教材費 誕生会(プレゼント代) ボランティア謝礼	24,000 × 12 カ月 550 × 120 人 5,000 × 12 回		288,000 66,000 60,000	414,000
合 計			162,000	658,300	820,300

手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

利用者一人ひとりの自立した生活の支援と非常時の生活や支援、どちらも両立できるように、質の高い事業所を目指して、ICTの積極的な活用やBCP対策の作成に取り組んでいきます。

《重点推進課題》

1. 事業所のレベルアップを目指す

利用者の自立した生活が支援していけるよう、昨年度は活用が少なかったタブレットを積極的に使用し、業務の効率化を図り、今まで以上に利用者や家族に寄り添える時間を作っていく。

また、新型コロナウイルス感染症の他、地震などの災害や不測の事態発生で利用者の生活と事業所の運営のダメージを最小限に抑えられ、早期に通常の状態を取り戻すことができるよう検討していく。

【指標・評価方法】

- ① 利用者訪問時にはタブレットを持参し、訪問の合間に記録作業をすることで業務の効率化を図り、利用者に関わる時間の確保に取り組む。
- ② 「自然災害や不測の事態とはどのような時か」、「それが起こったら利用者の生活と事業所運営がどのようなになってしまうのか」など、意見を出し合い、可能であればシミュレーションを実施するなど、BCP対策の具体化と可視化に取り組む。

手稲ゆうゆう訪問介護事業所
手稲ゆうゆう札幌市訪問介護相当型サービス事業所
手稲ゆうゆう居宅介護事業所

利用者及びご家族の要望に対し、迅速かつ的確に対応できるよう、職員間の連携機能の充実化を図ります。困りごとを少しでも軽減でき、安心して自宅での生活が続けられるよう支援し、利用者及び家族、そして地域からも信頼される事業所を目指します。

《重点推進課題》

1. 連携機能の効率化を図る

サービス提供責任者の稼働業務配分の見直しを図り、利用者及び家族、ヘルパー等からの連絡に対し、迅速かつ的確な対応を可能とする。

また、サービス提供責任者の事務業務についても役割分担を図り、円滑な事業運営を目指す。

【指標・評価方法】

- ① サービス提供責任者（役職者）が、所内で連絡対応できるよう、担当件数の見直しを図る。役職者の担当件数を現在の20件程度から、10件程度とする。
- ② 年度当初に、「計画作成」、「請求事務及び稼働調整」、「事業継続化計画（BCP）の作成」、「各種委員会」等、担当者を決め、四半期ごとに成果を確認していく。

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

更なる介護予防の普及啓発活動と一般介護予防事業を推し進めていく。今後も介護予防活動は感染対策を講じながら取り組む必要があるため、屋内活動のみならず、屋外活動や自宅で介護予防に取り組みが出来るよう、継続した支援とICT活用できる仕組みづくりの促進に努めます。

《重点推進課題》

1. 自宅（個人）で取り組める介護予防活動の支援

今後もコロナ禍で屋内活動が制限される予測の中、心身機能が低下すると懸念があるため、屋外や自宅での取り組み、オンライン等の活動を継続的に実施する。特に、自宅にしながらICTを活用した屋内介護予防教室の参加ができる仕組みづくりを行う。

【指標・評価方法】

- ① これまで介護予防活動に参加されていない地域住民に対して、何かしらの介護予防活動に取り組んでいただくために、地域で掲示協力をして頂ける店舗など新規開拓をする。
- ② より多くの地域住民が運動チェック表「まっする」にて、フレイル予防や見守り活動の一環として、定期的な連絡がとれる継続的な仕組みづくりの構築、身体機能などにより介護予防教室に参加できなかった方には、リモートで参加できる仕組みづくりを目指す。
- ③ より多くの地域住民がICT活用できるように、屋内介護予防教室でQRコードなどを活用した運動プログラムの提供を行うなど定期的な取組を行うとともに、高齢者が活用できる啓発物を発行する等の仕組み作りを目指す。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 事 業 所
通年	居宅会議(毎週木曜日)	居宅介護支援事業所(介護支援専門員)
	ヘルパー合同会議(月1回)	訪問介護事業所
	ヘルパー定例会議(月2回)	訪問介護事業所
	地区地域ケア会議(各地区1回 年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域包括支援センター介護予防センター連絡会議(月1回 第3火曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	地区連絡会議(区保健師・地域包括支援センター・介護予防センター・手稲区社協)(月1回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域ケア推進会議(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	介護予防事業情報交換会(手稲区:各4介護予防センター)(年6回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山健康づくり事業(2月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区各種団体交流会(3月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲ふれあいフェスティバル(手稲区介護予防センター共催事業)(9月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉のまち推進センター運営会議(月1回 第1火曜日)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉推進委員の集い(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区各種団体新年交流会(1月)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区認知症対策検討委員会(年2回)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置

介護予防普及啓発事業予定・予算

(単位:円)

月	活 動 名	費 用 内 訳	金 額	合計予算金額
4月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,900	14,900
		講師謝礼代	3,000	
		材料費代	6,000	
	オンラインすこやか倶楽部	実施回数 2 回		
5月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,100	9,600
		実施回数 3 回		
		熱中症対策	4,500	
	オンラインすこやか倶楽部	実施回数 2 回		
6月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,100	12,600
		材料費代	3,000	
		熱中症対策	4,500	
	オンラインすこやか倶楽部	実施回数 2 回		
7月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,100	15,600
		材料費代	6,000	
		熱中症対策	4,500	
	オンラインすこやか倶楽部	実施回数 2 回		
8月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,100	12,600
		材料費代	3,000	
		熱中症対策	4,500	
	オンラインすこやか倶楽部	実施回数 2 回		
9月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,100	5,100
		講師謝礼代		
		熱中症対策		
	オンラインすこやか倶楽部	実施回数 2 回		
10月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,900	5,900
		講師謝礼代		
		熱中症対策		
	オンラインすこやか倶楽部	実施回数 2 回		
11月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,900	14,900
		材料費代	9,000	
		熱中症対策		
	オンラインすこやか倶楽部	実施回数 2 回		
12月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,900	11,900
		材料費代	6,000	
	オンラインすこやか倶楽部	実施回数 2 回		
1月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	3,900	3,900
		実施回数 2 回		
2月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,900	11,900
		材料費代	6,000	
	オンラインすこやか倶楽部	実施回数 2 回		
3月	介護予防すこやか倶楽部	会館費代	5,900	8,900
		材料費代	3,000	
	介護予防機能強化業務 (旧一般介護予防モデル事業)	会館費用	54,000	125,600
		運動用ゴムバンド代	50,000	
		材料費代(資料作成・印刷・運動CD作成物品等)	21,600	
	地域福祉活動支援事業	実施回数 36 回		
		材料費代(講話資料・物品購入・印刷代等)	14,400	
		オンライン接続料金(モバイルルーター代)	39,360	
		オンライン機器設備代(スピーカーフォンなど)	20,000	
	その他活動予備費	書面による支援往信用郵送料	15,120	
		その他介護予防事業等の予備経費	27,720	27,720
合 計			370,000	370,000

特 養 音 更

職員内部研修計画

(ロータス音更)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4月	感染症予防対策について	感染予防対策委員会
5月	事故防止対策、身体拘束廃止について	各委員会委員長
6月	認知症について	通所介護事業所
7月	看取り介護について	看取り介護検討委員会
8月	避難訓練	施設向上研修委員会
9月	救命救急・緊急時対応について	施設向上研修委員会
10月	人権擁護、虐待防止について	虐待防止委員会
11月	事故防止対策について	事故防止対策検討委員会
12月	感染症予防のための実技訓練	感染予防対策委員会
1月	避難訓練	施設向上研修委員会
2月	災害・緊急時施設内対応	施設向上研修委員会
3月	口腔・嚥下機能について	つがやす歯科
その他	新規採用職員研修	各担当職員
	ユニットケア研修	各担当職員

介護老人福祉施設 ロータス音更
ロータス音更（介護予防）通所介護事業所
ロータス音更（介護予防）認知症対応型通所介護事業所
音更町地域包括支援センター ロータス音更
あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

介護老人福祉施設 ロータス音更

入居者の QOL 維持、向上のため、一人ひとりの願いや希望に沿った暮らしを実現する。そのために、ユニットケアの質を高め、根拠に基づく適切なケアの提供に努める。

《重点推進項目》

1 入居者の暮らしに合わせたケアを提供する

年齢や介護度、認知症状など、目に見える課題に囚われず、入居者一人ひとりの「その人らしさとは何か」を考え、暮らしとニーズに沿ったケアを提供する。そのために、ユニットケアやケアプランを改める機会を設け、個々のニーズを汲み取るとともに、柔軟に対応できる体制を整える。

【指標・評価方法】

- ・ ユニットケアの質を高めるため、外部研修や施設内研修を通じて、知識やスキルの向上を図るとともに、ユニット間の情報交換を積極的に行い、ユニットケアの見直しを実施する。
- ・ 一人ひとりが求めるニーズを理解するために、日々の関わりや日常の記録、ユニット会議、委員会などを通じて情報収集を行う。また、情報を活かした、シフトの工夫や研修方法について検討し実施していく。
- ・ 根拠に基づいた介護を実践するため、「LIFE」を活用した支援を実施する。
- ・ 入居者や家族が望むサービス内容となっているか評価するため、アンケートを実施する。

以上の目標を達成させるために、各ユニット及び、部門で取り組み目標を設定し、実現させていく。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	4月・10月 第1水曜日 16:30～
	運営ミーティング	毎月第1木曜日 15:45～
	ケアプランカンファレンス	毎週火曜日 11:00～
	ユニット会議 / ミニカンファ	ユニット毎月1回実施 / 毎週1回及び月1～2回
研 修	施設内研修	毎月第4火曜日 16:30
懇談会	給食懇談会	毎月第3水曜日 15:00～
委員会	給食委員会	毎月第4木曜日 15:45～
	虐待防止対策検討委員会	4月・10月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 15:45～
	身体拘束廃止委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 15:45～
	事故防止対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2水曜日 15:45～
	感染症予防対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4水曜日 15:45～
	施設向上研修委員会	4月・6月・8月・10月・12月・2月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第3木曜日 15:45～
	看取り介護検討委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2木曜日 15:45～
	口腔機能向上委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4金曜日 15:45～
	痰の吸引等安全対策委員会	対象者がいる場合に随時実施

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月	—	春のイベント食	春を感じる特別な食事を提供する。
5月	—	お花見	桜を見ることで季節感を感じて頂く(徒歩圏内)
	1日(日)	開設記日	開設記念日に特別な食事を提供する。
6月	—	夏のイベント食	夏を感じる特別な食事を提供する。
7月	24日(日)	夏祭り	各ユニットにて夏祭りを実施する。
8月	—	納涼会	ユニット毎に食事をして楽しむ。
9月	18日(日)	敬老祝賀会	長寿を祝い、記念品の贈呈を行う。
10月	—	秋のイベント食	秋を感じる特別な食事を提供する。
11月	—	冬のイベント食	冬を感じる特別な食事を提供する。
12月	—	クリスマス会・忘年会	ユニット毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう。
1月	—	正月	お正月の食事メニューを楽しむ
2月	3日(金)	節分行事	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごして頂く。
	—	施設居酒屋	居酒屋の雰囲気を楽しむ。
3月	3日(金)	ひな祭り行事	ひな壇を飾り、お寿司を食べて楽しむ。

【備考】

※「誕生会」各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施

※「ユニット行事」年間予定行事を企画しながら随時実施

※「変わり湯」季節を感じることができる入浴を行う。

※「床屋」毎月第4火曜・第1、第2、第4火曜・第2木曜、第4日曜

※「避難訓練」年2回実施(日中・夜間想定)

年 間 行 事 予 算(案)

(単位:円)

月	行 事 名	実施日	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食	—	イベント食を楽しむ	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
5月	開設記念日	1日	開設記念の特別食を提供	入居者食事代 700 × 80 人	56,000		56,000
6月	夏のイベント食	—	イベント食を楽しむ	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
7月	夏祭り	24日	各ユニットにて夏祭りを行う。	入居者食事代 1,000 × 80 人 飾り付け材料代外 200,000 ゲーム景品代 5,000	80,000	200,000 5,000	285,000
8月	納涼会	—	納涼会行事	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
9月	敬老行事	18日	長寿を祝い、表彰を行う。	入居者食事代 700 × 80 人 被表彰者記念品 3,000 × 10 人	56,000	30,000	86,000
10月	秋のイベント食	—	イベント食を楽しむ(お寿司行事)	入居者食事代 500 × 80 お茶菓子代 200 × 80		40,000 16,000	56,000
11月	冬のイベント食	—	お楽しみ食事会	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		24,000
12月	クリスマス・忘年会	—	各ユニットにてクリスマスを楽しむ	飾り付け材料代外 1,500 × 8 ユニ プレゼント代 300 × 80 人 鍋行事、飲み物代 500 × 80 人 クリスマス用献立 100 × 80 人		12,000 24,000 40,000 8,000	
	クリスマス 大晦日	31日	クリスマス用献立 おせち料理で新年を祝う	入居者食事代 300 × 80 人	24,000		108,000
1月	正月	1日	おせち料理で新年を祝う	入居者食事代 800 × 80 人 飲み物代等 100 × 80 人	64,000 8,000		72,000
2月	節分	3日	豆まきを楽しむ	豆と代替え食品代 5,000	5,000		
	施設居酒屋	—	居酒屋の雰囲気を楽しむ	巻き寿司、いなり 300 × 80 人 材料代 15,000 × 1 回	24,000	15,000	44,000
3月	ひな祭り行事	3日	行事食を楽しむ(寿司行事)	生寿司 500 × 80 人 お茶菓子代 300 × 80 人 桃の節句 食材費 220 × 80 人 デザート行事 食材費 10,000	40,000 24,000 17,600 10,000		91,600
通年	誕生会 ユニット行事 入浴行事 季節のお菓子 ご家族様への手紙		誕生日プレゼント 各ユニットでイベントを開催する。 変わり湯を楽しむ 季節のお菓子 毎月、近況報告の手紙と写真を送付する。	プレゼント代 1,300 × 80 人 材料代 2,000 × 8 回 材料代 2,000 × 4 回 食材費 800 × 80 人 × 1 年間 切手代 84 × 80 人 × 12 回 写真現像費用 7 × 80 人 × 12 回	64,000	104,000 16,000 8,000 80,640 6,720	279,360
合 計					592,600	581,360	1,173,960

ロータス音更(介護予防)通 所 介 護 事 業 所 ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

利用者に満足していただける通所サービスを目指す。そのために、利用者の希望や期待に応えられるよう更なるサービスの質の向上に努め、一人ひとりのニーズを大切にしたい利用者主体のケアを提供する。

《重点推進課題》

1 一人ひとりのニーズや身体状況に合わせたサービスを提供する。また、安心して利用できる環境を整える。

- ・ 自宅での生活を継続するために、科学的情報システム「LIFE」を活用した質の高いケアを提供し、自立支援や重度化防止の支援を実施する。
- ・ 感染症予防対策や事故防止対策の知識を深め、サービス内容へ反映する。

【指標・評価方法】

- ・ 認知症状の事例検討や情報交換、外部研修等の伝達講習を実施し、学んだ内容を実践していく。
- ・ ケアの質を高めるため、「LIFE」を活用し、分析結果をもとにした課題や改善方法を検討し、実施する。
- ・ 感染症予防や事故対策についての知識を向上させるため、感染症対策委員会や事故防止委員会が主となり、定期的に勉強会を実施する。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議(4, 10月)	全職員
	デイ会議(毎月第3金曜日)	全職員
	運営ミーティング(月1回)	役職員
	ケースカンファレンス(月1～3回)	全職員

年 間 予 定

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食 農園・園芸活動	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 花や野菜などの成長と収穫を楽しむ。	食事代 300 × 30 人 園芸用品代 10,000	9,000	10,000	19,000
5月	母の日週間 入浴イベント(菖蒲湯)	母の日を祝う 変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ。	プレゼント代 300 × 75 人 入浴材料代 3,000		22,500 3,000	25,500
6月	夏のイベント食 父の日週間	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 父の日を祝う	食事代 300 × 30 人 プレゼント代 300 × 15 人	9,000	4,500	13,500
7月	夏祭り週間	夏の雰囲気を楽しむ飾りや活動の実施	飲食代 10,000 製作材料・ゲーム景品代 4,000	10,000	4,000	14,000
8月	入浴イベント(季節の香り)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ。	入浴材料代 100 × 30		3,000	3,000
9月	敬老週間 敬老イベント食	敬老の飾り付けと記念品の贈呈の開催。 イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	節目対象者記念品代 1,500 × 11 人 全員対象記念品代 500 × 90 人 製作材料費 3,000 食事代 300 × 30 人	9,000	16,500 45,000 3,000	73,500
10月	秋のイベント食 入浴イベント(季節の香り) 運動レク	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ DVD利用し、音楽体操などを実施	食事代(お寿司行事) 500 × 30 入浴材料代 100 × 30 製作材料費 4,000	15,000	3,000 4,000	22,000
11月	冬のイベント食 入浴イベント(季節の香り)	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) 変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ。	製作材料費 300 × 30 人 入浴材料代 100 × 30 人		9,000 3,000	12,000
12月	クリスマス忘年会週間	クリスマスや年末にちなんだイベント。	プレゼント代 600 × 90 人 製作材料・ゲーム景品代 7,000 クリスマス献立 100 × 30 人	3,000	54,000 7,000	64,000
1月	冬の昼食行事	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。	食材料費 400 × 30	12,000		12,000
2月	節分行事	豆まきや食事、お茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 2,500 巻き寿司材料費 300 × 30 人	2,500 9,000		11,500
3月	ひな祭りイベント食 ひな祭り行事	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) ひな祭りを行う。お茶菓子を楽しむ。	食事代 300 × 30 人 おやつ材料費 2,500	9,000 2,500		11,500
通年	レクリエーション製作材料費 誕生会(プレゼント代) 利用者購読用 新聞代 季節のお茶菓子(1人1回200円全4回 / 登録人数88人)		5,000 × 12 ヶ月 700 × 90 人 週刊誌代 1,350 × 12 ヶ月 道新スポーツ・道新購読料 5,962 × 12 ヶ月 800 × 90 人	72,000	60,000 63,000 16,200 71,544	282,744
合 計				162,000	402,244	564,244

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	職員会議(4, 10月)	全職員
	デイ会議(毎月第3金曜日)	全職員
	運営ミーティング(月1回)	役職員
	ケースカンファレンス(月1回)	全職員

年 間 予 定

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	春のイベント食 農園・園芸活動	イベント食の提供(入所と同日) 花や野菜などの成長と収穫を楽しむ	食事代 300 × 12 人 園芸用品代 8,000	3,600	8,000	11,600
5月	母の日週間 入浴イベント(菖蒲湯)	母の日を祝う 変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ	プレゼント代 300 × 20 人 入浴材料代(一般入浴レク費で計上)		6,000	6,000
6月	夏のイベント食 父の日週間	イベント食の提供(入所と同日) 父の日を祝う	食事代 300 × 12 人 プレゼント代 300 × 5 人	3,600	1,500	5,100
7月	夏祭り週間	夏の雰囲気を楽しむ飾りや活動の実施	飲食代 5,000 製作材料・ゲーム景品代 4,000	5,000	4,000	9,000
8月	入浴イベント(季節香り)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ	入浴材料代 100 × 12 人	1,200		1,200
9月	敬老週間 敬老イベント食	敬老の飾り付けと記念品の贈呈の開催。 イベント食の提供(入所と同日)	節目対象者記念品代 1,500 × 2 人 全員対象記念品代 500 × 25 人 製作材料費 2,000 食事代 300 × 12 人	3,600	3,000 12,500 2,000	21,100
10月	秋のイベント食 入浴イベント(季節の香り) 運動レク	イベント食の提供(入所と同日) 変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ DVD利用し音楽体操などを実施。	食事代(お寿司行事) 500 × 12 人 入浴材料代 100 × 12 人 DVD材料費 4,000	6,000 1,200	4,000	11,200
11月	冬のイベント食 入浴イベント(季節の香り)	イベント食の提供(入所と同日) 変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ	製作材料費 300 × 12 人 入浴材料代 100 × 12 人	1,200	3,600	4,800
12月	クリスマス忘年会週間	クリスマスや年末にちなんだイベントの開催	プレゼント代 600 × 25 人 製作材料・ゲーム景品代 4,000 クリスマス献立 100 × 12 人	1,200	15,000 4,000	20,200
1月	冬の昼食行事	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。	食材料費 400 × 12	4,800		4,800
2月	節分行事	豆まきや食事、お茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 1,500 巻き寿司材料費 300 × 12	1,500 3,600		5,100
3月	ひな祭りイベント食 ひな祭り行事	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日) ひな祭りを行う。お茶菓子を楽しむ。	食事代 300 × 12 人 おやつ材料費 2,000	3,600 2,000		5,600
通年	レクリエーション製作材料費 誕生会(プレゼント代) 季節のお茶菓子(1人1回200円全4回 / 登録人数25人)		5,000 × 12 ヶ月 700 × 25 人 800 × 25 人	20,000	60,000 17,500	97,500
合 計				62,100	141,100	203,200

音更町地域包括支援センター ロータス音更

音更町C圏域の地域包括支援センターを受託し、2年が経過した中で相談内容が多種多様化している現状を踏まえ、総合相談窓口として重層的支援を行うため、関係機関と連携を強化していきます。

また地域課題については、各種会議等で得る情報を待つのではなく、自らの地域へ出向き、地域に於ける課題などを見出し、住み慣れた地域で安心して生活することができる地域づくりを実践していきます。

＜重点推進課題＞

1 総合相談窓口としての機能強化及び地域課題や地域の資源を把握する

地域包括支援センターとしての重要な役割である総合相談窓口としての機能強化を図り、重層的支援の必要性を見極め、関係各所と連携を図っていく。また地域課題や資源を把握するため、積極的に地域活動を行っていく。

【指標・評価方法】

- ① 下記の7つの業務を円滑に行い、地域包括支援センターロータス音更が地域拠点の総合相談の拠点として機能していく。
 - 1) 介護予防ケアマネジメント業務
 - 2) 総合相談支援業務
 - 3) 権利擁護業務
 - 4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - 5) 認知症施策の推進業務
 - 6) 在宅医療・介護連携の推進業務
 - 7) 地域ケア会議開催業務
- ② 昨年度に引き続き、C圏域全戸に包括支援センターのリーフレットを配布する。
また地域住民が集う公共施設及びスーパー等にもリーフレットを設置して頂き、総合相談の窓口であることを周知する。
- ③ 関係機関や関係事業所と連携を図り、地域ケア会議や民生委員との意見交換会を開催する。また今年度より独居高齢者世帯への訪問を実施するが、全世帯への訪問は困難であることから、今年度は十勝川温泉地区を対象に訪問を実施し、地域に於ける課題や資源についても把握していく。

あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

利用者の心身の状況や環境を把握し、本人の有する能力に適したサービスを提案し、本人の生きがいや望む生活を営むことができるよう支援します。また、保健・医療・福祉サービス事業者と連携し、総合的かつ効果的な介護サービス計画に基づき、サービスが提供されるよう、公正・中立な立場で支援を行います。

《重点推進課題》

1. ケアマネジメントに対する不安や疑問を事業所内で共有を図り、専門的知識を活かし適切なケアマネジメントを提供できる環境づくりを目指す。

【指標・評価方法】

- ① 個々がもつ疑問点や不安を、日々のコミュニケーションや居宅会議で情報を共有し対応を検討することで、担当一人一人が抱え込むことが無く、チームとして課題解決に向けてアプローチをする。
- ② 加算の算定要件や医療との連携、記録の記載方法について勉強会を計画・実行し、介護支援専門員全員で知識を共有することで、ケアマネジメントの質の向上を図る。
- ③ 適切なケアマネジメントを行うため、各保険者の連絡会や各種研修へ参加する機会を大切にし、情報収集や考え方を学ぶ。
- ④ 困難な事例について、利用者を取り巻く環境など担当包括と情報共有し、各サービス事業者と連携を図り、利用者・家族の自立支援につなげる。

老 健 音 更

職員内部研修計画

(あんじゅ音更)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	接遇向上委員会
5月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止/虐待防止委員会
6月	事故防止について(救命救急)	医療事故防止委員会(音更消防署)
7月	感染予防について	感染予防委員会
8月	虐待防止について	身体拘束廃止/虐待防止委員会
9月	防災について	防災委員会
10月	感染予防について	感染予防委員会
11月	未 定	研修委員会
12月	事故防止について	医療事故防止委員会
1月	身体拘束廃止について	身体拘束廃止/虐待防止委員会
2月	感染予防について	感染予防委員会
3月	福祉用具について	研修委員会

老人保健施設 あんじゅ音更
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 あんじゅ音更

ご利用様が、住み慣れた環境(地域)において、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、個々に合わせたリハビリやレクリエーション、軽作業、季節ごとの行事などの活動を提供し、生活機能の維持・向上を図り、老人保健施設の役割である在宅復帰・在宅療養支援の機能を果たしていく。

また、感染予防対策の強化・徹底を継続し「感染に強い施設」「安心・安全な環境の中でご利用様の笑顔があふれる施設づくり」を目指す。

《重点推進課題》

1. 在宅復帰・在宅療養支援機能のさらなる強化

在宅復帰を見据えたりハビリの充実、記録の電子化に伴う業務効率化を軸として、支援機能の強化を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 個別リハビリの実施や日常生活の中でのリハビリ、集団体操やレクリエーションなどの活動参加を通じて、身体機能の維持、向上を図る。また、自宅での生活にスムーズに移行できるよう、自宅を想定した環境を整備し、家族が不安なく介助を行えるような支援・指導を行って行くことで、在宅復帰率50%以上、超強化型老健を維持する。
- ② 記録の電子化を進め、各部署間でのスムーズな情報共有や業務の効率化を図る。
- ③ 施設内研修やオンライン等での研修会に参加し、介護技術の向上や「丁寧な介護」を合言葉に職員の資質向上を図る。

2. 感染予防対策徹底の厳格化

クラスターで経験したことを活かし、感染の予防や拡大を防止する手洗い・消毒・マスク着用など「新しい日常」の習慣を一人一人が実践していく。

【指標・評価方法】

- ① 新たに作成した感染対策マニュアルに添って、感染対策を実施、評価し、改善点があれば見直しを行い、感染症を施設内に持ち込まない・広げないという強い想いを職員全体で共有し実践する。
- ② PPEの脱着手順や初動対応のシミュレーションなど、研修や振り返りの機会を持ち、感染リスクの低減に努め、予防対策をより厳格に徹底する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	年2回(4月下旬・10月下旬)
	幹部会議	毎月第2水曜日 17:00～
	入所判定会議	随時
	ケアカンファレンス	毎週水・金曜日 11:00～
	看護師会議	毎月第3火曜日
	フロア会議	2F:毎月第2木曜日 3F:毎月第2金曜日
	リハビリ会議	毎月第1水曜日
	施設内研修	毎月第4水曜日 18:00～
委員会	医療事故防止委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第3水曜日 17:45～
	身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第3木曜日 17:45～
	感染対策委員会	委員会 :毎月第3水曜日 小委員会:毎月第1水曜日 17:45～
	褥瘡対策委員会	3ヶ月毎(対象者がいる場合月1回)
	接遇委員会	毎月第4月曜日
	研修委員会	毎月第4火曜日
	教育委員会	毎月第2月曜日
	給食委員会	毎月第4木曜日
	防災委員会	毎月第3月曜日
	口腔ケア委員会	毎月第4月曜日 11:00～
	ターミナルケア委員会	毎月第2月曜日
	衛生委員会	毎月第1月曜日

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
5月		母の日	母の日に合わせた企画をする
		開設記念日	開設17周年
6月		父の日	父の日に合わせた企画をする
		運動会	リハビリを兼ねて、運動の機会と交流を目的に行う。
		蕎麦行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
7月		夏レク	各フロアにて夏らしい行事を企画し楽しんでいただく
8月		夏レク	夏らしいレクリエーションを行い季節感を感じていただく。
9月		敬老の日	入所者の長寿を祝う。
10月		寿司行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
11月		昼食行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
12月		クリスマス忘年会	食事を囲み、クリスマスの雰囲気を楽しむ。
	31日	年越し	神飾りや鏡餅を飾り、お酒を振る舞い新年を迎える。
1月	1日～2日	正月	おせち料理で新年を祝う。
	中旬	新年餅つき大会	杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。
2月		節分	干支歳の入所者による豆まき等。
	下旬	鍋行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
3月		桃の節句	職員による相撲大会。
※「誕生日会」各入所者の誕生日に実施 ※「変わり湯」年2回実施 ※「日曜喫茶」各階にて毎週日曜日に実施 ※「避難訓練」年2回(10月・3月)実施 ※「個別外出」5月～10月の間で入所者の希望に沿った外出を実施			

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	実施日	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	寿司行事		入所者の声を反映した食事提供を行う。	入所者食事代 900 × 100 人	90,000		90,000
5月	母の日 開設18周年 個別外出		母の日に合わせお祝いをする。 開設記念日に合わせ食事会 入所者の希望に沿った外出を行う。	6,000 入所者食事代 500 × 100 入所者飲食代 実費	50,000	6,000	56,000
6月	蕎麦行事 運動会 父の日 個別外出		ボランティアによる蕎麦打ち披露、試食 リハビリを兼ねて入所者間の交流を図る。 父に日に合わせお祝いをする。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 200 × 100 人 装飾等備品代 20,000 6,000 入所者飲食代 実費	20,000	20,000 6,000	46,000
7月	夏レク 個別外出		夏らしい行事の実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 500 × 100 人 ジュース代 200 × 100 人 各階飾りつけ代 × 人 ゲーム・花火等 × 人 入所者飲食代 実費	50,000 20,000 10,000 40,000		120,000
8月	夏レク 個別外出		夏らしいレクリエーションの実施。 入所者の希望に沿った外出を行う。	装飾等備品代 20,000 入所者飲食代 実費		20,000	20,000
9月	敬老の日 個別外出		入所者の長寿を祝う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 760 × 100 人 入所者飲み物代 50 × 100 人 高齢者記念品代 2,000 × 15 人 (喜寿・米寿・白寿・100歳以上) 装飾備品代 20,000 入所者飲食代 実費	76,000 5,000	30,000 20,000	131,000
10月	寿司行事 個別外出		入所者の声を反映した食事提供を行う。 入所者の希望に沿った外出を行う。	入所者食事代 900 × 100 人 入所者飲食代 実費	90,000		90,000
11月	昼食行事		季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	入所者食事・飲物代 250 × 100 人	25,000		25,000
12月	クリスマス忘年会 行事食 年越し	日 日 31日	フロア毎で企画を立て、入所者・職員の 親睦を図る。 クリスマス昼食 神飾りや鏡餅を飾り、新年を迎える。	入所者食事代 500 × 100 人 装飾等備品代 20,000 入所者食事代 100 × 100 人 飲物・菓子・装飾等代 30,000	50,000 10,000	20,000 30,000	110,000
1月	正月 新年餅つき大会	1日 中旬	おせち料理で新年を祝う。 杵と臼を使って、餅つきを楽しむ。	おせち料理 1,200 × 100 人 もち米他材料代 10,000	120,000 10,000		130,000
2月	節分 昼食行事	3日 中旬	干支歳の入所者による豆まき等。 季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。	豆・備品代 10,000 入所者食事・飲物代 250 × 100 人	25,000	10,000	35,000
3月	桃の節句	日	大相撲大会	景品・備品代 10,000		10,000	10,000
通年	誕生日会 変わり湯(8月3月) 喫茶 レク用品 園芸用品 職員食事代 予備費	毎月 2回 日曜	入所者の誕生日に合わせ、お祝いする。 変わり湯を楽しみ、入浴意欲を高める。 フロアにおける活動費 花壇等の環境整備 外出行事の際の食事代	プレゼント代 1,500 × 100 人 入浴物品代 6,000 × 2 ヶ月 入所者飲物代 実費 レク用品代 10,000 × 2×12 ヶ月 園芸用品代 50,000 310 × 50 100,000	15,500	150,000 12,000 240,000 50,000 0 100,000	567,500
合 計					706,500	724,000	1,430,500

あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

記録の電子化を導入することで、業務の円滑を図ることを目指す。

また、自立支援を念頭におき、心身の機能の維持回復を図る通所リハビリテーションの役割を踏まえ、感染予防対策の強化を行いながら住み慣れた地域や自宅で継続した生活が送れるよう支援を行っていく。

《重点推進課題》

1. 業務の円滑化による新たな取り組み

記録の電子化導入により業務の円滑化を図る。そのために、すべての職員が介護記録ソフト(ほのぼの NEXT)の操作技術の習得レベルを一定水準まで高められよう努める。また、通所リハビリテーションの役割を利用者ニーズと更に深く照らし合わせて、新しいサービス内容を通所プログラムに追加する。

【指標・評価方法】

- ①支援相談員が中心となり定期的な操作説明を行うとともに、随時、各職員への指導・助言を行うことで介護記録ソフト(ほのぼの NEXT)の習得レベルを一定水準に引き上げる。
- ②記録の電子化導入後、新しいサービス内容を職員と検討し、通所プログラムに追加する。

2. 感染予防の強化

利用者及び職員共に日々の体調確認や基本的な感染対策をしっかりと行いながら予防に努める。また、利用者や各ご家庭に定期的に注意喚起を行う。

【指標・評価方法】

- ①感染予防対策に関するご協力のお手紙を各家庭に定期的に配布し、注意喚起を行う。
- ②乗車前の体温の確認やマスク着用が正しく行えているか、また、手洗いや手指消毒、換気を行っているかを朝の申し送りで定期的に伝える。
- ③个人防护具(PPE)において、正しい装着及び使い方ができているか、対応が正しく行えているかの定期的な評価及び確認を行う。

年 間 会 議 予 定

月	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員	会 議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
通年	デイケア会議(不定期開催)	デイケア職員	感染予防委員会(第1水曜日)	担当職員
	リハビリカンファレンス(随時)	デイケア職員	新人教育委員会(第2月曜日)	担当職員
	サービス担当者会議(随時)	支援相談員・正職員	医療事故防止委員会(第3水曜日)	担当職員
	施設内研修(第4水曜日)	デイケア職員	接遇向上委員会(第4月曜日)	担当職員
	幹部会議・主任会議(10日以降で設定)	通所主任・通所副主任	研修委員会(第4火曜日)	担当職員
			防災委員会(不定期開催)	担当職員

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行 事 名	内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月					0	0
5月	園芸活動 昼食行事(1日間限定)	苗植え (きゅうり、ミニトマトなど) 普段とは違う食事を楽しむ	肥料 4,000 × 1 苗 6,000	20,000	4,000 6,000	30,000
6月						0
7月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
8月					0	0
9月	敬老週間 昼食行事(1日間限定)	敬老を祝う 普段とは違う食事を楽しむ	各種表彰 1,500 × 3 人 (2021.2.27現在) 喜寿(昭和20年) 1 人 米寿(昭和 9年) 2 人 白寿(大正12年) 0 人 高齢者(大正11年以前) 0 人	20,000	4,500	24,500
10月						0
11月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
12月	Xmas&忘年会 変わり湯週間		ケーキ代 200 × 180 人 プレゼント 500 × 90 人 飾り付け 20,000 雰囲気の違いお風呂を提供する (ゆず湯) 20,000	36,000	45,000 20,000 20,000	121,000
1月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
2月						0
3月	昼食行事(1日間限定)	普段とは違う食事を楽しむ		20,000		20,000
通年	物品購入費及びレクリエーション制作材料費 誕生日プレゼント代 本代(オレンジページ)(月2回) 本代(壮快)(月1回) 本代(やさいの時間(2ヶ月に1回) 本代(レクリエ(2ヶ月に1回)		10,000 × 12 ヶ月 1,000 × 90 人		120,000 90,000 12,000 7,500 5,478 13,930	248,908
予備	予備費				6,000	6,000
			合 計	156,000	354,408	510,408

あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

生活機能の維持・向上を目的として、リハビリテーションを行い、住み慣れた家と地域で、利用者、家族が笑顔で在宅生活を続けることができるよう支援する。

また「活動」や「参加」に焦点を当てた提案やアプローチを行っていく事で、利用者が主体的に日常生活活動を営む事が出来るよう支援する。

そして利用者の機能に合わせた、適切な福祉用具の選択や住環境整備の提案を行うことで、利用者が在宅生活において、最大限の能力を発揮し、生活の質の向上に繋がれるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 継続した在宅生活への支援

利用者の機能・能力、日常生活や家屋状況を把握し、適切なリハビリテーションプログラムを立案・実行する事で、安心安全な生活を送れるよう支援する。さらに新型コロナウイルスの流行によって閉じこもりがちな生活を余儀なくされている利用者に向けて運動機会が確保できるよう身体機能に合わせた自主訓練メニューを提案し、心身機能が維持できるよう支援する。また、家族への介護指導や不安等に耳を傾けることで在宅生活をより長く継続できるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ①医師の診察・指示のもと、利用者個々の状態に合わせたリハビリテーションプログラムを作成・実施し、心身機能の維持・向上を図る。また利用者様やご家族の在宅生活を営む上での希望と、家屋環境を踏まえたリハビリテーションプログラムを作成し、実際の生活に即した訓練を提供する。自主訓練メニューなどを提供し訪問リハビリテーション以外の時間も活動できるきっかけを作っていく。
- ②定期的にリハビリテーション会議を開催し、利用者のご家族、医師、担当リハビリ職員でリハビリテーションの進捗状況の確認や今後の方針について情報共有を行う。また訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行など現状に適したサービスへの切り替えも検討する。必要に応じて関係機関へ会議の内容を伝達し、情報共有を図る。
- ③年1回、利用者・家族へのアンケートを実施し、リハビリテーションの満足度や職員の対応、態度等について意見を聞き、今後の業務に活かす。